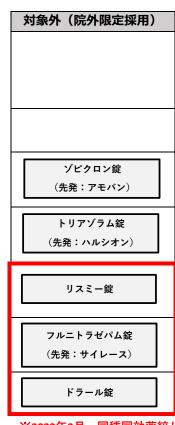
睡眠薬の院内フォーミュラリー

作用機序		第一選択薬	第二選択薬	第三選択薬
オレキシン受容体拮抗薬		デエビゴ錠 ベルソムラ錠		
メラトニン受容体作動薬		ロゼレム錠		
非ベンゾジアゼピン系	超短時間型		エスゾピクロン錠 (先発:ルネスタ)	ゾルピデム酒石酸OD錠 (先発:マイスリー)
ベンゾジアゼピン系	超短時間型			
	短時間			プロチゾラムOD錠 (先発:レンドルミン)
	中間			ベンザリン錠
	長時間			



※2022年3月 同種同効薬絞り込みにより 院内採用薬から変更

【補足】

- 1) デエビゴ錠は一包化、粉砕可能な製剤です。(ベルソムラ錠は製剤の安定性が悪いため一包化、粉砕ともに不可です) また、デエビゴ錠はベルソムラ錠と比較して薬物相互作用の少ない製剤です。 なお、重度肝機能障害患者に対してデエビゴ錠は禁忌、ベルソムラ錠は慎重投与となっています。
- 2) ベンゾジアゼピン系薬剤は、第一選択薬が効果不十分な場合に使用を検討すること。 また、漫然とした継続投与を避け、少なくとも3ヵ月ごとに、減量・中止が可能か検討すること。 なお、急激な減量や投与中止により離脱症状があらわれることがあるので、投与を中止する場合は、症状を見ながら 現使用量の1/3位を2週程度かけて、徐々に減量してください。
- 3) 麻酔前投薬はベンゾジアゼピン系のみ適応を有します。